

# こころちっ子

第10回

「社会を明るくする運動」

作文コンテスト

広島県更生保護女性連盟会長賞入賞

## 明るく街へくりをめぐらして

河内小学校6年 大田 紗綾

最近テレビや新聞などのニュースでは、驚くほどごわいなと思う事件が多くてとても心が痛みます。どの街でも同じだと思えますが、子どもだけで外に出て近くの公園で遊ぶこともできないほど安心・安全がなくなっています。

自分たちの住む大好きな街が、こんな不安いっぱいの街でいいのでしょうか。街角には子どもたちの笑顔があふれ、走り回る子どもたちの明るい声が聞こえてくる。公園には、幼児が集まり、お年寄りが読書したりおしゃべりしたりしている。そんな明るくて安心・安全な街になつていくために、私たちが考えないといけないことは何でしょうか。

私は次の三つのことを考えました。

まず一つ目は、「あいさつ」だと考えました。

「あいさつ」の意味を調べてみると次のようなことが分かりました。

「あいさつ」の「あい」には、



人の「心を開く」という意味があり、あいさつの「さつ」には、その人の「心に近く」という意味がありました。こんな素敵な意味をもつ「あいさつ」を多くの人がもつと使つてほしいと思いました。

「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」など声に出せるようになって素敵なことでしよう。声をかけ合うことで、街の人の心が開き、人々の心が近づいていける。そうすることで、街中が明るくなり安心が広がるのです。

二つ目は、「返事」です。うなずいたり相づちをうったりして、返事をしながら人の話を聴くということとです。自分が話しているときに、話し相手や周りの人たちが「はい」と返事をしながら聴いてくれたら、うれしいと思います。私は、



うれしいです。自分の話を聴いてくれてくれる安心感があると思うからです。

返事について調べてみるとこんなことが分かりました。返事の「はい」という漢字は、「拝む」を使っているそうです。つまり、「はい」には、おがみ受け止めるという意味があります。「拝」という字の意味は、「おがむ。おじぎをする。へりくだつてする。」とありました。周りの人の気持ちに寄り添い、受け止めるための返事をもつと大切にすべきだと思いました。

三つ目は、「思いやり」です。

「思いやり」について調べてみると、「人

の立場に立つて、やさしい心づかいをする。」とありました。誰だつて自分には、やさしくしてほしいと思うでしょう。しかし、人を思いやる心、いたわる心をどれだけ出せているでしょう。自分さえよかつたらと思う気持ちはありませんか。多くの人が、もつと気を配ったり、人のために行動したりしてほしいと思います。

街を明るく、社会を明るくするなど、考えたことがなかったのですが、考えてみるとすごく大切なことだと思つたようになつてきました。そこで、私が考えたことを街で広げる前にまず、家族の中から始めてはどうでしょうか。

「ありがとう」の思いやりの言葉が家族であふれ、街角であふれたら、明るい街になると思いませんか。

そして、犯罪などの事件もなくしていきけるように思います。

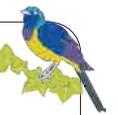
明るく、安心な街になつてほしいと思うだけでは、何も変わりません。明るい街づくりのためにまず、私にできることから始めようと思います。



## 花の植栽お礼

12月1日、冬晴れの中、多くの参加をいただき、短時間で植栽が出来ました。平成31年「元気で、きれいな河内地区を皆さんで」作り続けて行きましよう。

公衆衛生推進協議会会長 日本治男



## 私の思い

ダイアパレス下河内町内会長も今年で25年目になります。この間色々河内を知り、人間関係の大切さを知り、今日に至っています。この事は、ある思いがあるからです。

一、どうせ一度しかない人生ならば、いずれいやいやながらに過ごすのも、ほがらかに楽しく過ごすのもかわりはないが、できることなら楽しく過ごすほうがはるかにいい。

二、人の長所は大いにほめたほうがいい。ほめないで黙っているよりもほめたほうがはるかに楽しい。

三、行事がつまらないのなら楽しくするためにどうしたらいいかを考えることだ。つまらないと決めつけることが、かえつてつまらなさを促進させるだけのものにならない。

四、人は不健康で暗くユーモアの解せない生活を送るのは簡単だ。しかしどうせ努力するなら健康で明るくユーモアの解かせる生活を送るようになつたほうがはるかにいい。

五、健康のありがたさは、不健康になつたときほどよくわかる。健康を保つためには、常日頃から快食、快眠、快便、快笑、快汗の五快に努めるといい。これらの言葉はある有名人がすすめる言葉です。

ダイアパレス下河内町内会

会長 藤田啓一